日本善意財団様
ご支援ありがとうございます。

2025年7月19日

ＮＰＯ法人レインボーリボンの活動報告

日本善意財団様のご支援

コロナ禍の2020年10月、「はらぺこレスキュープロジェクト」の立ち上げ資金20万円のご支援以来、

毎月3万円のご寄付、

夏休み・冬休み・春休みの「ごはんプロジェクト」に10～15万円、

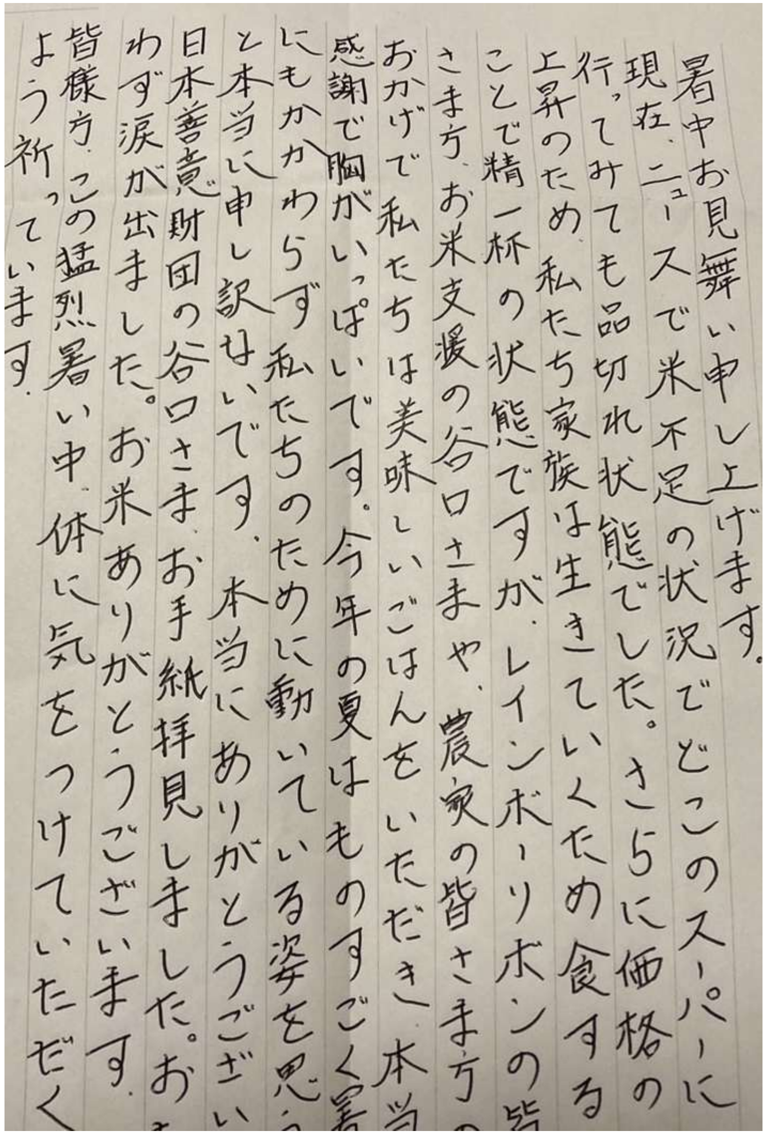
フードパントリー利用者へのオムツ購入、

夏休み、冬休みの「米米プロジェクト」ご支援、

毎月、北川八郎様の有機米30キロ、

理事の岩鬼諭様より季節ごとの贈り物など、

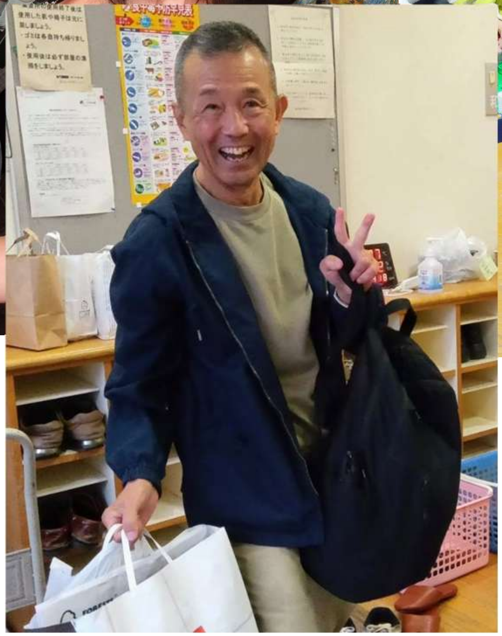
様々なご支援


暑中お見舞い申し上げます。
現在、ニュースで米不足の状況でどこのスーパーに
行ってみても品切れ状態でした。さらに価格の
上昇のため私たち家族は生きていくため食する
ことで精一杯の状態ですが、レインボーリボンの皆
さま方、お米支援の谷口さまや、農家の皆さま方の
おかげで私たちは美味しいごはんをいただき、本当
感謝で胸がいっぱいです。今年の夏はものすごく暑
にもかかわらず私たちのために動いている姿を思
と本当に申し訳ないです。本当にありがとうござい
日本善意財団の谷口さま、お手紙拝見しました。お
わず涙が出ました。お米ありがとうございます。
皆様方、この猛烈暑い中、体に気をつけていただく
よう祈っています。

2024年8月17日　フードパントリーご利用のIさんからのお手紙

今年の夏も、昨日（7月18日）、各世帯に5キロのお米を70袋（総量350キロ）が届きました！本日午後のフードパントリーで、谷口様にもボランティアご参加いただき、配布させていただきます。

谷口賀彦事務局長様　活動のご視察・ご支援



レインボーリボンのこども食堂　参加者数　2024年度

回数	日付	子ども	保護者	ボランティア	見学	会場参加合計	弁当総数
1	2024/4/13	28	15	20	1	64	90
2	2024/4/27	20	11	23		54	90
3	2024/5/11	28	15	20		63	90
4	2024/5/25	37	20	17		74	90
5	2024/6/8	28	15	22	1	66	90
6	2024/6/29	32	19	18		69	91
7	2024/7/13	33	22	13	2	70	82
8	2024/7/27	37	19	10		66	80
9	2024/8/10	43	26	25		94	104
10	2024/8/31	42	25	20		87	100
※UR青戸第一団地集会所を借りられなかったため1回休み							
11	2024/9/28	45	25	15	3	88	100
12	2024/10/12	46	24	15		85	89
13	2024/10/26	41	23	14		78	90
14	2024/11/9	44	26	14		84	97
15	2024/11/23	48	27	21		96	98
16	2024/12/14	46	27	19		92	100
17	2024/12/28	30	18	22	1	71	94
18	2025/1/11	33	22	15	2	72	86
19	2025/1/25	43	27	17		87	98
20	2025/2/8	37	24	19		80	94
21	2025/2/22	38	25	16		79	88
22	2025/3/1	37	24	19		80	91
23	2025/3/22	35	24	20	3	82	88
	合計	851	503	414	13	1781	2120
		子ども	大人	ボランティア	見学	会場参加合計	弁当総数

2024年度の実績（1）

あおとこども食堂は23回実施し、
延べ利用者数　子どもは851人、保護者503人、見学14人、
ボランティア414人
合計　1781人、お弁当提供数は2120個でした。

前年の2023年度は24回
子ども563人、保護者304人、見学49人、ボランティア397人
合計　1313人、お弁当は2057個の提供でした。

子どもは1.5倍
保護者は1.6倍
ボランティアは1.04倍
となりました。

2024年度の実績（２）

レインボーリボン フードパントリー食料等配布数　2024年度

回数	日付	世帯数	子ども	人数合計	ボランティア
1	2024/4/6	63	126	189	7
個別	2024/4/19	3	5	9	1
2	2024/4/20	62	122	184	6
3	2024/5/4	60	120	180	6
個別	2024/5/17	1	1	2	1
4	2024/5/18	67	126	193	6
個別	2024/5/20	3	5	9	1
個別	2024/5/29	1	0	1	1
5	2024/6/1	73	152	225	6
個別	2024/6/14	4	9	14	1
6	2024/6/15	65	131	196	7
個別	2024/6/18	1	1	3	1
7	2024/7/6	62	125	187	6
個別	2024/7/12	3	7	11	1
8	2024/7/20	62	120	182	6
個別	2024/7/26	3	7	11	1
個別	2024/7/27	1	1	1	1
9	2024/8/3	66	136	202	6
10	2024/8/17	60	125	185	5
個別	2024/8/29	1	0	1	1
個別	2024/9/6	2	4	11	1
11	2024/9/7	69	136	205	6
個別	2024/9/20	2	4	11	1
12	2024/9/21	70	139	209	5
個別	2024/10/4	3	7	11	1
13	2024/10/5	68	141	209	5
14	2024/10/19	67	137	204	6
個別	2024/10/26	2	3	5	1
個別	2024/11/1	4	7	6	1
15	2024/11/2	72	148	220	5
個別	2024/11/8	1	0	1	1
16	2024/11/16	75	151	226	6
個別	2024/11/25	5	8	13	1
個別	2024/12/6	2	2	4	1
17	2024/12/14	71	136	207	6
18	2024/12/21	72	143	215	6
19	2025/1/4	72	146	218	7
個別	2025/1/10	4	10	16	1
20	2025/1/18	74	142	216	7
個別	2025/1/24	5	4	6	1
21	2025/2/1	74	142	216	6
個別	2025/2/7	2	4	6	1
22	2025/2/15	72	143	215	7
個別	2025/3/1	1	0	1	1
23	2025/3/8	72	143	215	6
24	2025/3/29	67	134	201	6
個別	2025/3/30	1	0	1	1
合計		1690	3353	5053	168
		世帯数	子ども	人数合計	ボランティア

フードパントリーは24回の開催と、個別の支援23回
1690世帯への食料・日用品等の提供を行いました。
世帯内の子どもの数は3353人でした。

2023年度は
1239世帯
子どもの数は2360人でした。

世帯数は2.7倍
子ども数は1.4倍
になりました。

フードパントリー利用条件を厳格化しました。

コロナ禍の2020年10月から始めたフードパントリー。

仕事がなくなるなど、急激に家計が悪化する子育て家庭が多かったので、特に条件は設けず、ご希望の方すべてに食品、衛生用品等を配布していました。当時は20世帯ほどへのご支援でした。

しかし、コロナ5類移行後もパントリー利用登録は増え続け、2024年の物価高騰により130世帯となりました。小さな事務所で開催しているため、1回に受け入れられる世帯数は70が限界です。

今年度は1回の開催につき60世帯定員とし、定員に漏れてしまって、どうしても食料が足りない世帯には特別対応という形をとっています。

2020年10月

2024年8月

2025年度　利用登録条件
以下の要件にあてはまる方で、経済的に困窮している方 ①18才未満の子ども(障がいがある場合は20才まで)を育てている保護者 ②親に頼ることができない18才からおおむね30才までの若者 ③公的機関等の紹介がある方 ④難民申請中・仮放免中・避難民など在留資格が不安定で公的制度を利用できない方 ①～④のいずれかにあてはまる方で、世帯収入が都営住宅入居基準以内の方

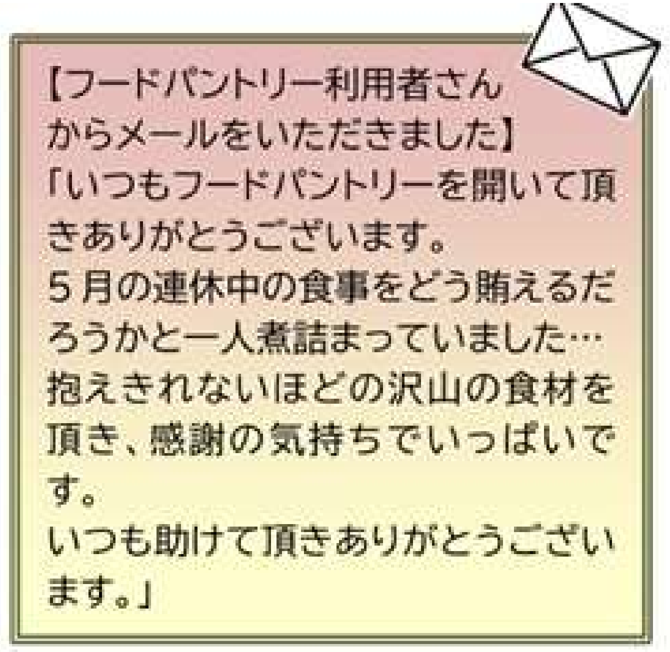
「子どもの貧困」は終わっていません

子どもの貧困率は2018年の14.0%から、2021年は11.5%と改善

「子どもの貧困」は終わった問題なのか…？

「ひとり親家庭の場合、可処分所得100万円以下の層はかえって増加してしまっている」（三菱UFJリサーチ＆コンサルティング）

【公益財団法人 子どもの貧困対策センターあすのばが実施する「入学・新生活応援給付金」などの受給世帯（生活保護受給者世帯、住民税非課税世帯）14,845世帯の保護者、子ども・若者に対するアンケート調査】
健康状況を「よくない・あまりよくない」と回答した人が約4割（39.2%）
医療機関を「ほとんど受診しない・まったく受診しない」人が33.9%
その理由は「医療費負担が大きい」が60.9%、「病院に行く時間がない」が51.4%


【フードパントリー利用者さん
からメールをいただきました】
「いつもフードパントリーを開いて頂
きありがとうございます。
５月の連休中の食事をどう賄えるだ
ろうかと一人煮詰まっていました…
抱えきれないほどの沢山の食材を
頂き、感謝の気持ちでいっぱいで
す。
いつも助けて頂きありがとうござい
ます。」

「子どもの貧困」解消へ――

2024年11月13日

こどもの貧困解消に向けた政策提言

－あすのば６千人調査結果を踏まえて－

公益財団法人あすのば

Ⅰ困難を抱えるこどもとその世帯への支援拡充

1.困窮子育て世帯への支援

(1) 最も貧困率の高いひとり親世帯への経済的支援の大幅拡充を
　①行政による養育費立替支援事業を全自治体で実施(兵庫県明石市、さいたま市など)
　②児童扶養手当の大幅な増額と所得制限などのさらなる緩和、毎月支給(明石市)を
　③児童扶養手当の所得制限超過の世帯にも医療費減免などの施策を(川崎市)
(2)低所得子育て世帯への児童手当の加算など、ふたり親世帯も含めた経済支援の拡充を
(3) 生活保護制度のさらなる柔軟な運用を
　①自動車を持っていても、こどもが高等教育進学でも生活保護の受給を
　②「生活保護は権利」という啓発推進と捕捉率の改善を
(4)水道光熱費などライフラインの料金減免を
(5)空家活用などによる安価な住宅の提供を
(6)通勤・通学などの交通費補助を(沖縄県・川崎市)

レインボーリボンの今後の方針

NPO法人として10年を目途に活動してきたレインボーリボンですが、

こども食堂をはじめとした地域に根付いたニーズに応えるため、10年めの節目を迎えた昨年度、これからも活動を継続することを決めました。

団体としての活動を基盤としながら、

葛飾区の子ども・若者支援の市民運動

ネットワークの要として、

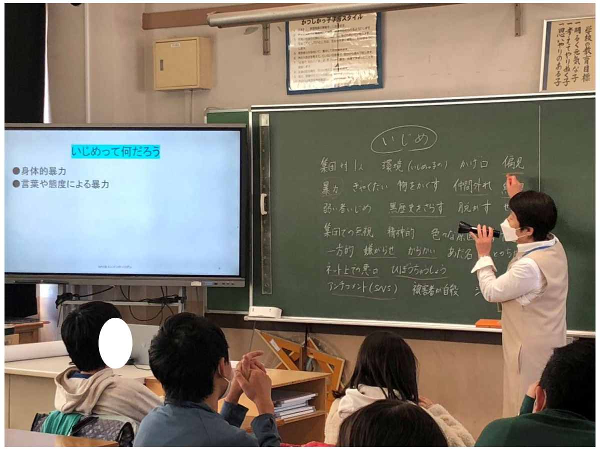
また、民間団体と区行政との協働を進める

立場として、社会的役割を担い、

責任を果たしていきます。

活動の3つの柱

こども食堂・
フードパントリー



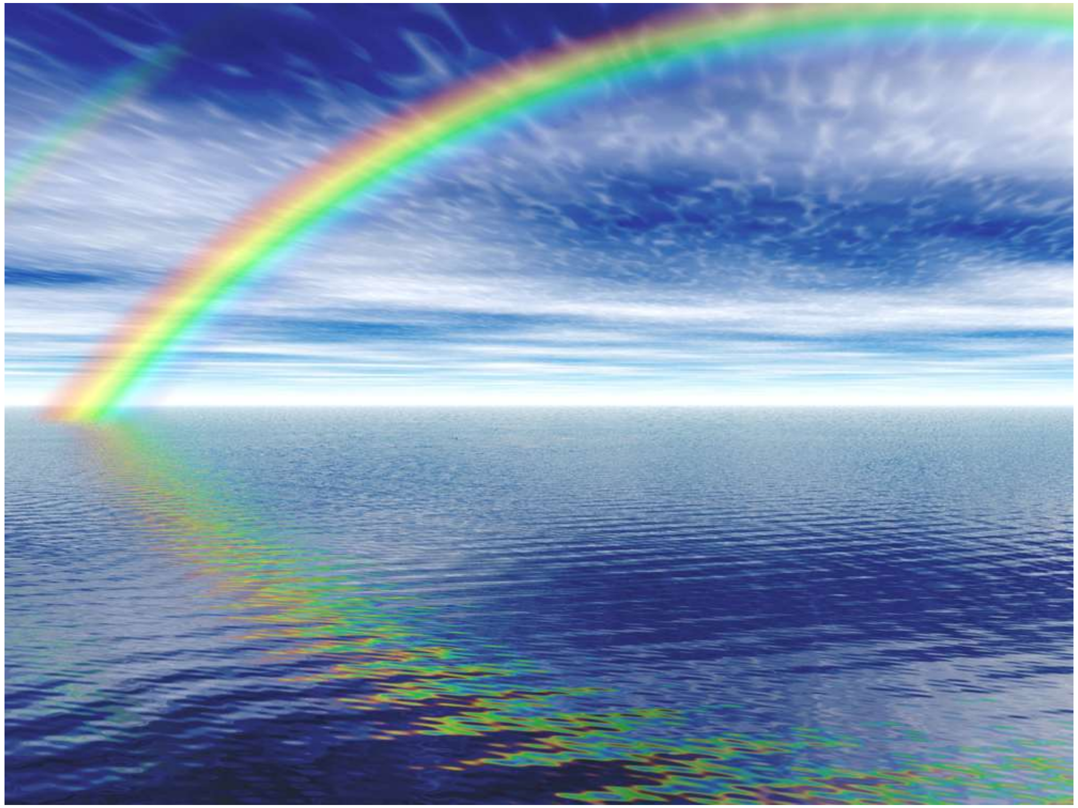
いじめ防止
教室

PTA研修

善意財団様に主にご支援いただいている
こども食堂・フードパントリー事業について

- フードパントリー事業は物価高・米不足の影響を強く受け、利用者数が私たちのキャパシティーを超えるレベルにまで達してしまいました。そこで今年度からは利用登録の要件を厳格にし、「経済的困難を抱える子ども・若者支援」という活動の目的を明確にしました。
- こども食堂は利用者の経済状況を要件とはせず、地域に開かれた「居場所」として位置づけ、登録は不要、予約のみで参加していただける仕組みとしました。ただし、予約定員に達した後もフードパントリー登録者等の参加希望を受け入れているため、結果として困難家庭の利用が大半を占めています。
- こども食堂もフードパントリーも活動の究極の目的は、貧困や児童虐待など、子どもの権利が脅かされる状況を未然に防ぐこと、あるいはそうした状況を早期発見し、行政等の支援につなぐことです。その目的に近づくため、子どもの権利に関する学びを深め、日々の活動においてアンテナを高く立て、機敏に動けるよう、団体としての自己研鑽に努めたいと思います。

最後に…昨年ご報告したMちゃんのその後

NPO法人
レインボーリボン

ご清聴ありがとうございました。
今後ともよろしくお願いいたします。